

うさぎ組



先生、見て～！



コマ遊び

継続をしている遊びということもあり、ひもを巻くこともスムーズになり、あちらこちらで対戦を楽しんでいる姿も出てきました。友達の足がコマに当たりそうになると「ちょっと離れて～」「危ない～！」などと伝えていました。コマの楽しみ方も広がってきています。

たこあげ

自分で作ったたこを手元に元気に走り、たこあげをしています。風がない時には一生懸命に走らないと思うように上がらない時もありますが楽しんでいます。



どっちが勝つかな？



カードゲーム

スリーヒントゲームでは読み手と取る人に分かれて楽しんでいました。ひとつひとつを確認しながらカードを取る姿がありました。3つのポイントをしっかりと覚えてカード遊びの楽しさを味わっていますね。

おはじき遊び

おはじきの遊び方を知らせると子ども同士で楽しみます。はじめは指ではじくことが難しくて「できない～」と言いましたが教師が指の動かし方などを伝えると自分なりに繰り返してしていくうちに少しずつできるようになって楽しみ方を体感していききました。



なわ遊び

継続をしている遊びということもあり、前跳びに挑戦をする子どもの姿も増えてきました。初めて跳ぶことができる「先生～見て！できたできた」と何度も見せてくれることで跳ぶ楽しさ跳べる喜びになっています。自分自身でつかんだ遊びの喜びは継続につながりますね。



こうやって人差し指ではじいて遊ぶんだよ



はねつき遊び

はじめは教師と一緒にしていた子ども達も少しずつ友達同士で楽しめるようになっていきます。羽根をつく方法を実践で知らせる可愛い姿や、友達が上手に打つことができると「いいね」など声をかける微笑ましい姿があります。

こうやってとぶねん





それ、ちくちく
ことば



ふわふわで
うれしい



ふわふわとちくちく

保護者の方と一緒に絵本を読んだ絵本を子どもと一緒に読み「どんな風に言われたら嬉しい気持ちになったり、元気になったりするかな？」と問いかけると「大好き」「いいよ」「ギュッとする」など思い思いに話してくれました。指をさしながら「それしたらあかん」など教えてくれました。ふわふわ言葉で話すと周りの人もふわふわ言葉になってみんなが楽しく過ごせるねと話をしていました。子ども達と話をしながら保護者の方と話したこと思い出し、また改めてふわふわ言葉の大切さを感じました。

こうやっておよいで、
とるねん



ラッコが上を向いて泳ぐので床にごろりとする子や、上を向いて後ろ歩きをする子、おなかの上で貝をトントン割っている子などそれぞれの表現の中で楽しんでいます。遊びの振り返りの時には自分の思ったことや自分の表現などを友達の前で話しています。友達のしていることに気持ちを向けることで一緒に遊ぶ楽しさを感じ、お話の世界を楽しんでいきたいと思います。

おいしい～！



ワカメがいっぱい
あったよ



貝はどこに
あるかなあ



おやすみなさい



お話の遊び (いたずらラッコのおなべのほし)

絵本を読み始めると一気にお話の世界に入る子ども達です。なりきって遊ぶことも好きでお話に出てくる海の生き物やラッコになって教師や友達と一緒に遊ぶと子どもらしい身体表現を見せてくれます。お母さんラッコと子どものラッコになって遊んでいると「にじ色の貝を見つけた！」「大きい貝、一緒に食べよう」といって貝を割って渡してくれるなど可愛い姿がありました。